

体験の広場

ものづくりや遊びを通して各館の特色を体験していただけます。

開催日 タイムテーブル タイトル・内容

12/20 (金)

13:00 ~16:30

出前チャレンジ・ラボ シュワシュワ発泡入浴剤を作ろう！

重曹やクエン酸などの身近な材料を使って、お風呂に入れる発泡入浴剤をつくってみよう！作った入浴剤は持ち帰って、自宅のお風呂でお使いください。（1回の製作時間は約15分）

スリーエム仙台市科学館



発泡入浴剤

13:00 ~17:00

縄文アイテムづくり

縄文の技と知恵を楽しく体験してみよう！石を削って磨いて作る縄文風オリジナルアクセサリー、粘土でつくる縄文ミニチュアグッズの2メニューが登場します！

仙台市縄文の森広場



石で作るオリジナルアクセサリー

13:00 ~17:00

昔なつかしのてづくりおもちゃ

けんだま、お手玉、おはじき、めんこ（ぼった）、福笑い、すごろく、輪投げなど、昔の子どもたちが遊んだおもちゃの体験コーナー。家でかんたんに手作りできるものもあります！冬休みのお楽しみにどうぞ。

仙台市歴史民俗資料館



めんこ（ぼった）

13:00 ~17:00

スイスイ水生昆虫のパラパラまんがをつくろう！

みなさんはゲンゴロウがどんなふう泳ぐか知っていますか？昆虫やカエルなど、水の生きものはとってももおもしろい泳ぎ方をしています。水槽の生きものを見たり、CTスキャンで足の筋肉のつくりを見たりしながら、泳ぐ水生昆虫のパラパラまんがをみんなで作ってみよう！

東北大学総合学術博物館



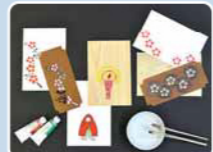
パラパラまんが

13:00 ~19:00

グリーティングカードを贈ろう！

クリスマスからお正月までのデザインの型紙を使い、合羽刷りの技法でカードを染める体験ができます！カードはケナフ紙・木製カードから選べます。（製作時間は約15分。木製のカードは各日とも50名まで）

東北福祉大学 芹沢銈介美術工芸館



グリーティングカード

12/21 (土)

11:00~17:00

※各イベント内容は20日(金)と同じです。

展示の広場

各館の情報はもちろん、ここでしか味わえない、とっておきの企画もご用意しています。

- SMMA SMMAの紹介と、仙台市内のミュージアムのパンフレットの展示や配布等を行います。
● 歴ネット 仙台歴史ミュージアムネットワークについて紹介します。
● 仙台市縄文の森広場 仙台市縄文の森広場で体験できるメニューの見本品を展示します。
● 仙台市天文台 仙台市天文台のフリーペーパー「ソラリスト」のバックナンバーを展示します。
● 地底の森ミュージアム 特別企画「はにわの美」展の写真を紹介します。はにわを美的な側面から紹介し、複製品も展示します。
● 仙台市博物館 仙台市博物館の所蔵する資料の数々をパネルで紹介いたします。

- 仙台市八木山動物公園 仙台市八木山動物公園を紹介するチラシやポスター、動物の派生品等を展示します。
● 仙台市歴史民俗資料館 県内最古の木造洋風建築である仙台市歴史民俗資料館の建物と活動を紹介します。
● 仙台文学館 仙台文学館とはどのような施設なのかを、写真パネルで紹介いたします。
● 東北大学総合学術博物館 フクイラブルの等身大パネルの前で記念撮影ができます。『みちのく博物館』の活動も紹介します。
● 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館 芹沢銈介が制作した「グリーティングカード」や「年賀状」のデザインをパネルで紹介いたします。
● 宮城県美術館 宮城県美術館で開催する展覧会と教育普及活動を紹介します。

ミュージアムグッズショップ

参加館のオリジナルグッズなどを販売。ミュージアムガチャガチャもご用意します。

Image showing museum goods like gacha gacha and cards. Text: ミュージアムガチャガチャ, ミニ半纏ふきん, ミニ半纏ふきん【仙台市縄文の森広場】, ミニ半纏ふきん【仙台市縄文の森広場】

上：大正15年仙台市全図(複製版) 下：昭和27年仙台市街明細地図(複製版) 【仙台市歴史民俗資料館】

SMMA 参加館の紹介

※休館日など詳しくは各館にお問い合わせください。

SMMAの見験楽学便

1 スリーエム仙台市科学館

所在地: 981-0903 仙台市青葉区台原森林公園4-1. 開館時間: 9:00-16:45. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

5 仙台市博物館

所在地: 980-0862 仙台市青葉区川内26. 開館時間: 9:00-16:45. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

9 せんだいメディアテーク

所在地: 980-0821 仙台市青葉区春日町2-1. 開館時間: 9:00-22:00. 休館日: 第4木曜(12月を除く)...

2 仙台市縄文の森広場

所在地: 982-0815 仙台市太白区山田上ノ台町10-1. 開館時間: 9:00-16:45. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

6 仙台市八木山動物公園

所在地: 982-0801 仙台市太白区八木山本町1-43. 開館時間: 3~10月 9:00-16:45. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

10 東北大学総合学術博物館

所在地: 980-8578 仙台市青葉区荒巻青葉6-3. 開館時間: 10:00-16:00. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

3 仙台市天文台

所在地: 989-3123 仙台市青葉区錦ヶ丘9-29-32. 開館時間: 9:00-17:00. 休館日: 平成25年度月曜・第3火曜...

7 仙台市歴史民俗資料館

所在地: 983-0842 仙台市宮城野区五輪1-3-7. 開館時間: 9:00-16:45. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

11 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

所在地: 981-8522 仙台市青葉区国見1-8-1. 開館時間: 10:00-16:30. 休館日: 日曜・祝日...

4 地底の森ミュージアム

所在地: 981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1. 開館時間: 9:00-17:00. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

8 仙台文学館

所在地: 981-0902 仙台市青葉区北根2-7-1. 開館時間: 9:00-17:00. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

12 宮城県美術館

所在地: 980-0861 仙台市青葉区川内元支倉34-1. 開館時間: 9:30-17:00. 休館日: 月曜(祝日は開館)...

仙台ミュージアム情報誌

旬の見験楽学便

けん・けん・がく・がく

いよいよ開催が迫る「12館大集合！ミュージアムユニバース～すてき・ふしぎ・おもしろい～」の楽しみ方をたっぷりガイドします！



ひとあしお先にちよっぴりフライングトークで、当日のお話を予習しよう！

トークとイベントの広場

各館の専門家によるトークやクイズなどをお届けします。

体験の広場

ものづくりや遊びを通して各館の特色を体験していただけます。

展示の広場

各館の情報はもちろん、ここでしか味わえない、とっておきの企画もご用意しています。

ミュージアムグッズショップ

参加館のオリジナルグッズなどを販売。ミュージアムガチャガチャもご用意します。

2013 12/20 (金) 13:00~20:00 12/21 (土) 11:00~17:00

会場：せんだいメディアテーク 1階オープンスクエア

仙台市青葉区春日町2-1

入場無料

せんだいメディアテークへのアクセス 地下鉄：仙台駅から泉中央行きで3分...

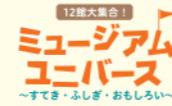
- 参加館: スリーエム仙台市科学館, 仙台市博物館, 仙台市縄文の森広場, 仙台市八木山動物公園, 仙台市歴史民俗資料館, 仙台市天文台, 地底の森ミュージアム, 仙台市博物館, 仙台市八木山動物公園, 東北福祉大学歴史民俗資料館, 仙台文学館, せんだいメディアテーク, 東北大学総合学術博物館, 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館, 宮城県美術館

2013年11月13日 仙台・宮城ミュージアムアライアンス発行

この冊子リサイクルできます。

## トークとイベントの広場

各館の専門家によるトークやクイズなどをお届けします。



開催日 タイムテーブル タイトル・内容 話し手・進行役

**12/20 (金)** **14:00～** **動物たちからの贈り物 ～派生物のいろいろ～**

動物園には動物たちからのギフト(贈り物)、すなわち多くの動物の派生物(卵、糞、毛、皮、骨等)があります。これら派生物は動物種や個体によって様々です。動物園内で日ごろ見ることが出来るものから、なかなかお目にかかれない珍しいものなど、多種多様な派生物について、楽しく・分かりやすく紹介していきます。



**15:00～** **北の森からの贈りもの ～北海道の森、氷河期の森～**

地底の森ミュージアムの野外展示「氷河期の森」は、2万年前の富沢の森を復元しています。この復元に携わった前東北大学植物園園長・鈴木三男氏は、現在、北海道の東の外れの標津というところに居を構え生活しています。その鈴木氏から、森を復元する際のエピソードや、北海道の森での暮らし、そして森の役割やわたしたちのかかわり方についてお話しを伺います。



**16:00～** **昔の生きもの折りがみ教室** 「ちよっぴりライティング」で予約しよう!

宮城県では、世界に自慢できる貴重な古生物の化石がこれまでにいくつも見つかっています。わたしたちの足元に眠る大昔の生きものたちを、折り紙でつくって現代によみがえらせよう! かつて、ふるさとの大地を舞台にくり広げられた生命たちの営みに、想いを馳せてみませんか?



**17:00～** **きみはアイソン彗星を見たか?** 「ちよっぴりライティング」で予約しよう!

アイソン彗星は、11月末に太陽に大接近し、大彗星になると予想されています。その近況をご紹介しながら、彗星の正体は何か、どこから来たのか、彗星から何が分かるか、彗星は災いをもたらすというウワサは本当かなど、いろいろな疑問に答えます。



**18:00～20:00** **SMMA企画 学芸員と話そう!ミュージアムの夢**

学芸員のお仕事ってどんなもの? SMMA 参加館の学芸員と、ミュージアムの日常や、あなたが持っているミュージアムの夢を語り合しましょう。学芸員を目指す学生の参加も大歓迎です。



**12/21 (土)** **12:00～** **クリスマスのはじまり ～歴史的考察～** 「ちよっぴりライティング」で予約しよう!

クリスマスはいつ始まったのでしょうか。なぜ12月25日なのでしょう。かつては1月や3月にイエス・キリストの誕生日を祝ったこともあったようです。また、モミの木のクリスマスツリーの意味は?ヨーロッパの歴史をさかのぼって、そのはじまりを考察します。



**13:00～** **仙台市博物館からの挑戦状【冬の陣】～君も政宗通!～**

仙台市博物館には伊達家関係の資料が数多く収蔵されています。その中から伊達政宗にまつわる資料を紹介しながら、どなたでも参加できるクイズイベントを行います。親子で、お友達同士でぜひチャレンジしてください。政宗の具足(よろい)レプリカも登場!



**14:30～** **公開製作 石器をつくろう! ～旧石器人の技にチャレンジ～**

石器時代や石器について話をまじえながら、旧石器人の大切な道具・石器(やり先)を公開製作します。石器は旧石器時代と同じ方法で作り、道具もシカの角などを使用します。一般の方々にも当日チャレンジいただき、道具をつくることの大切さを伝える場としたと思っています。つくった石器は持ち帰り可能です。



**16:00～** **シネバトル ～ミュージアムユニバース版～ わたしのイチオシ映画はコレよ!**

「シネバトル」はプレゼンターがそれぞれに好きな映画をアドリブで紹介しあい、誰が会場に関心が一番集めるかを競うゲームです。映画のいろいろな見方、楽しみ方を発表し合い、小学生から大人までどなたでも投票に参加、お楽しみいただけます。



## ちよっぴりライティングトーク

「トークとイベントの広場」に出演するミュージアムの中から2つ、ひとしお先にトークの中身を聞いてみました。当日はどんなお話が聞けるのか、どんな用意をしておくとより楽しめるのか、ここで予習してみませんか?

### 「きみはアイソン彗星を見たか?」を聞く前に きみもアイソン彗星を見てみよう!

仙台市天文台 土佐誠 台長

#### もう二度と出会えない!

アイソン彗星は、とても遠いところからやってきます。太陽系の外側に「彗星のふるさと」があるとされているのですが、そこから太陽に近づいてきて、また戻っていく。その周期が、何千年・何万年という時間なので、私たちにしてみれば見られるチャンスは一度きり。まれに、ハレー彗星のように太陽の周りを回る軌道もち、一定周期で見られる彗星もあるのですが、アイソン彗星の場合は「一生に一度の出会い」。そのため、天文ファンの間でも注目されています。

もうひとつ注目されているのが、見え方。太陽に最接近する前後は、とても明るく、しっぽの長い大彗星になるのではないかと期待されています。ただ、彗星の見え方に関しては予想が難しいので、期待通りに見えるかは私たちにもわかりません。その「どのように見えるかわからない」ところも、楽しみにされていますね。

#### 観測のこんな失敗にご用心

アイソン彗星は、11月の終わりから12月の頭にかけて、明け方、東の空に見えてきます。日の出前の5時くらいが見つけやすいと思えますよ。どんな彗星が空に現れるか、ぜひ皆さんにも見てほしいのですが、観測にあたりいくつか注意やコツがあります。

まず、探し方。僕が子どもの頃「ムルコス彗星」という大きな彗星が見られた時があったんです。新聞などの事前の情報では「地平線近くに見られる」とあったので、僕も地平線を一生懸命探していたんですが、見つからなくてねえ。ふっと目線を上げたら、すぐそこにあった(笑)。だから、事前情報は頭に入れて、広く空を眺めてみたほうがいいですよ。

もう1つは、脱輪に注意(笑)。せっかくだからと街灯が無い暗い場所へ車で移動する方もいると思うのですが、灯りを避ければ避けるほど、路肩が見えづらくなってガタン!と。僕も夜中に脱輪して、苦労しました。助けを呼ぶにもなかなか人が来ないので。

ほかには、防寒。寒い時期で明け方なので、くれぐれも防寒はしっかりと。また、アイソン彗星は肉眼でもきれいに見えると予想されていますが、しっかり見たいなら望遠鏡ではなく双眼鏡がおすすです。大きな彗星は、望遠鏡だと視野に収まりきらず、ごく一部しか見えないことも。ですので、レンズの直径が40ミリくらいで、倍率が10倍以下の双眼鏡がちょうどいいと思います。双眼鏡だったら、普段も景色を見たりバードウォッチングしたりと活用できますね。



土佐誠 1944年、東京都生まれ。1973年東北大学大学院修了後、名古屋大助手、東北大助教授、東北大教授(東北大学大学院理学研究科天文学専攻)を経て、2008年4月より仙台市天文台台長。専門は銀河物理学。



太陽に大接近するのは11/29(金)。その前後数日を除く明け方はこのあたり(東の空)に見られそう ※写真はイメージです。

#### 家庭用デジカメでも写る!

アイソン彗星を見つめることができれば、ぜひお手持ちのデジカメで写真を撮ってみてください。最近のデジカメは性能がいいから、星も写るんですよ。僕も、仙台駅のペDESTリアンデッキで金星を撮ったことがあります。夜景を写すモードだと撮りやすいんじゃないかなあ。露出を変えたりズームにしたり、いろいろ試してみてください。アイソン彗星は、毎日見え方が変化するはず。尾の形が変わっていくはずですし、急激に明るくなる日もあると思うんです。そういう変化を写したら、ぜひミュージアムユニバースに持ってきてくださいね。あなたが見たアイソン彗星を皆さんにご紹介しながら、彗星にはなぜ尾ができるのか、なぜ明るくなるのかなどをご紹介したいと思います。

お時間があれば、ぜひ天文台のプラネタリウムにもお越しください。『天文の時間』でアイソン彗星の特集をしています。どの方向にどんなふうに見えるか、手がかかる星座や星も紹介しますので、予習しておくで見つけやすくなりますよ。一度見つけることができれば、次からはラク。毎日刻々と変わるアイソン彗星を記録して、彗星のふしぎと魅力と一緒にふれていきましょう。

#### アイソン彗星の写真を募集します!

トークの中でご紹介しますので、プリントアウトして当日にご持参ください。  
※当日、撮影写真の情報として「氏名、撮影日時、場所、カメラ、天候、感想など」をシートにご記入いただけます。写真(A4版以内)をご持参のうえ、トーク開始の少し前までに会場にお越しください。  
※時間の都合上、ご紹介できない場合があります。

**12/20 (金)** **土佐台長のトーク日程はこちら!**  
タイトル **「きみはアイソン彗星を見たか?」**  
17:00～17:45 (無料)

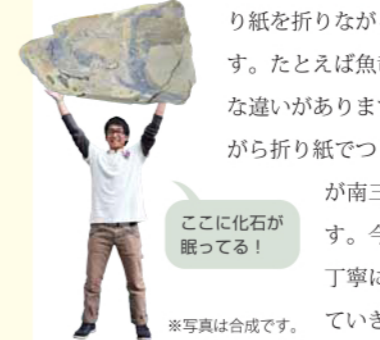
### 東北大生が結成した「みちのく博物楽団」と一緒に “生きもののミリョク”にググッと迫ろう! みちのく博物楽団



みちのく博物楽団 東北大学の学生によって結成されたミュージアム支援団体。東北大学総合学術博物館を拠点に、ワークショップなどを通してミュージアムを身近に感じてもらう活動をしている。写真中央が代表の白井孝明さん、写真左が助教・向井康夫さん、右が木下峻一さん。

#### 宮城の化石を折り紙でおぼえよう!

トークのテーマにしている「古生物」とは、絶滅してしまった生きものなどを指します。今回、題材に考えているのは「アンモナイト」と「魚竜」。魚竜とは、イルカのような形をした古代の海の生きものです。この魚竜の化石、じつは日本だと宮城県の南三陸地域で見られるんです。しかも、世界で最古の魚竜の化石は、南三陸で発見されているんですよ。こういった宮城に眠る古生物の特徴を、折り紙を折りながら、みんなで発見していこうと思います。たとえば魚竜は、イルカと似ているけれど決定的な違いがあります。それがどんなところか、確かめながら折り紙でつくってみましょう。あわせて、僕たちが南三陸で見つけてきた化石もお見せします。今はまだこの状態(写真)。これから丁寧に石をはがして、姿がわかる状態にしていきますので、お楽しみに!



ここに化石が眠ってる! ※写真は合成です。

#### 実物を見て!パラパラマンガで!

体験の広場では、ゲンゴロウとガムシが皆さんをお待ちしています。これらは田んぼなどに生息していて、宮城に住む私たちにはとても身近な生物なのですが、この2つ、見た目がとても似ていて、図鑑だと違いがよく分かりません。ところが、泳ぎ方が全く違うのです。例えるなら、片方は平泳ぎで、もう片方は犬かき。どっちがどっちは、当日見てのお楽しみ。この動きの違いを、スタンプを使ってパラパラマンガにしてみましょう。おもしろく、わかりやすく見られますよ。動きの違いを見たあとは、虫の筋肉に迫ります。“動く”からには、虫にも筋肉があります。それが人



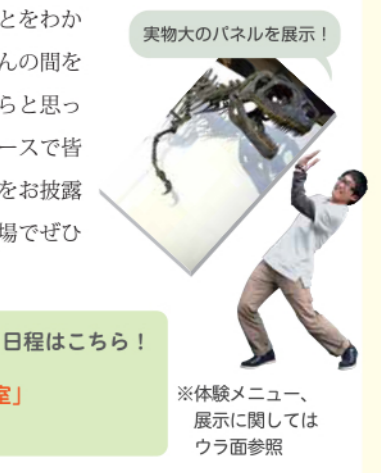
動きに愛嬌があるんです ※体験メニュー、展示に関してはウラ面参照

#### 恐竜好き・博物館好きあつまれ!

展示のコーナーでは、東北大学総合学術博物館に今年から仲間入りした肉食恐竜「フクイラプトル」のパネルを展示します。やっぱり肉食恐竜には迫力が!一緒に写真も撮れるので、ぜひフクイラプトルとの記念撮影もお楽しみください!

僕たちも、もともとは恐竜や化石好き。そこが入り口となって、いま地学を勉強しています。子どもたちにも、そんな入り口をたくさん作ってあげられたらと。専門的なことをわかりやすく伝え、研究者と市民の皆さんの間をつなぐ役割を、僕たち学生が担えたらと思っています。このミュージアムユニバースで皆さんに「みちのく博物楽団」の活動をお披露目できたらと思っていますので、会場でぜひ気軽に質問してくださいね!

**12/20 (金)** **みちのく博物楽団のトーク日程はこちら!**  
タイトル **「昔の生きもの折りがみ教室」**  
16:00～16:45 (無料)



※体験メニュー、展示に関してはウラ面参照

### 「クリスマスのはじまり ～歴史的考察～」で知る 「復活した日」より「生まれた日」が広まったふしぎ

東北大学総合学術博物館 小川知幸 助教



クリスマスがなぜ12月25日なのかというのは、じつは昔からある疑問なんです。歴史的に、キリストの誕生日がいつだったかというのは全くわからないんですね。どこにも記録が無い。昔は、キリストが復活したということが重要なのであって、生まれた日には関心が無かったです。ところが、それが歴史のどこかで転換し、生まれた日を祝うようになった。そのきっかけが何だったのかを、今回お話ししようと思っています。また、クリスマスツリーの飾りの意味にも触れようかと。その飾りつけやオーナメントの1つ1つにも、もとは意味があるんですよ。キリスト教には、いろいろなアイデンティティがあります。でもそ

れを「古典学」という、宗教と離れた視点で見てみると、違った事実も見えてくる。“枠の中の見方”と“ちょっと枠を外した見方”の両方を、今回のトークと一緒に楽しめればと思っています。ちょうどクリスマス前ですし、ランチを楽しむ前座として(笑) 聞きに来てもらえたらうれしいです。

**12/21 (土)** **小川助教のトーク日程はこちら!**  
タイトル **「クリスマスのはじまり～歴史的考察～」**  
12:00～12:45 (無料)